

# NEWS

## 第3回安全衛生委員会

### 「安全衛生活動の取組 視察・研修」開催

安全衛生委員会（加山昌弘委員長）は、2月28日（木）第3回安全衛生委員会「安全衛生活動の取組 視察・研修」を17名参加のもと開催しました。

午前は「サンコーリサイクル（株）」（東海市浅山三丁目190）にて代表取締役 金田英和氏の挨拶、常務取締役 金田 琳氏より「安全への取り組み」の発表がありました。朝礼では当日の作業内容の確認、KYの実施、IoT技術の活用でデータ管理のもとプラントのリスクをコントロール、プラント内の設備は色分けによる誤視の防止がなされています。セキュリティ強化は、場内カメラの設置、セキュリティ会社との連携、ビジターカードの使用、収集運搬においては最新車両（追突防止センサー）の導入、GPSにて車両の運行状況を把握、運転手による自主的なミーティング、現場での情報共有と確認を行っています。これらの安全衛生の取り組みは、コンサルティングを導入した成果といえ、安全に対する意識の向上、万が一を意識した行動、リスクを未然に排除する姿勢、日常的に問題点を洗い出す習慣が身についたとのこと。CSRについては、壁面の緑化、ラジオ放送での発信、東山動物園のスポンサーとして業界のイメージアップに貢献しています。その後保管庫屋上からプラントを見学しました。

午後は「オオブユニティ（株）リサイクルプラント横根工場」（大府市横根町惣作236-1）にて代表取締役 相木 徹氏の挨拶後、環境ソリューション事業部長 浜辺 久氏より「安全衛生研修会」の発表がありました。はじめに従業員200名を抱える安全衛生管理体制の各部署の役割について説明がありました。また、日頃の安全衛生の取り組みでは、火災発生対応手順書、薬品漏洩手順書、ヒヤリハット事例、避難経路他が作業現場に掲示されていました。年間行事としては、救命救急講習会、交通安全講習会、車両講習会、ユニック講習会（新人教育）等の説明がありました。工場内の視察では、場内の清掃が行き届き清潔な環境が保たれ各通路の周辺は整理整頓されており、けがにつながるような物はありませんでした。目を引いたものが工場内の救命浮輪でしたが、階下が水槽になっており蓋の開閉に際し、もしもの時の浮輪が設置してありました。壁面には各機器のコントロールパネルが設置され、遠隔操作にて廃棄物の処理の管理を行うことができます。社内の過去事例では、車のバック時が事故につながりやすいとのヒヤリハットがあり、事故防止の強化を図っています。2社の視察研修を終え委員会は閉会となりました。

